大学・高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　ハイレベル枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F108110101423	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）
大学名	筑波大学	設置区分	国立	事業計画名	世界・社会をキャンパスとした筑波大学情報系トップ人材育成機能強化事業
学校種	大学	都道府県	茨城		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、未尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	7月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程）、 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程）、 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程） 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出予定 3月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 収容定員関係学則変更計画書（意見伺い）提出予定	7月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程）、 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程）、 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程） 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出 3月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 収容定員変更関係学則変更計画書（意見伺い）提出	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	① 8月～ グローバル・マルチメンターシステム及び「修学×キャリア」ハイブリッド支援システムの構築準備、学修サロンハブ（オンサイト／メタバース）構築のための調査 ② 9月　R6年度増員分に係る募集内容の公表、ダブル・ディグリープログラムの開始 ③ 10月　学生数増のための教育体制等の整備に向けた準備（増員組織担当教員・専門スタッフ公募） ~~④ 1月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営工事に伴う調査の実施~~（R6.3.21承認） ⑤ 2月　R6年度増員分に係る入試実施、学則改正学内手続 ⑥ 3月　R7年度増員分に係る収容定員関係学則変更申請（又は翌年6月）※例年7月に3年次編入学入試を行っているため、3月の申請を希望	① 8月～ グローバル・マルチメンターシステム及び「修学×キャリア」ハイブリッド支援システムの構築準備、学修サロンハブ（オンサイト／メタバース）構築のための調査 ② 9～11月　R6年度増員分に係る募集内容の公表、ダブル・ディグリープログラムの開始 ③ 10～3月　学生数増のための教育体制等の整備に向けた準備（増員組織担当教員・専門スタッフ公募） ⑤ 1～2月　R6年度増員分に係る入試実施、学則改正学内手続 ⑥ 3月　R7年度増員分に係る収容定員関係学則変更申請		
令和6年度	7月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出予定	7月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出	令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	① 4月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ~~3名~~2名採用）（R6.7.17承認） ② 4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営に係る調査及び工事（初年度）、~~及び~~情報メディアユニオン棟等改修工事~~（初年度）~~の実施（竣工予定日：3月31日）（R6.3.21承認） ③ 7月　R7年度増員分に係る概算要求 ④ 7~2月　R7年度増員分に係る募集内容の公表、入試実施 ⑤ ~~8月~~2月　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教員~~11名~~1名採用）（R7.3.26承認） ⑥ 2月　R7年度増員分に係る学則改正学内手続 ⑦ 3月　自己点検・評価結果とりまとめ・公表 ⑧ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの体制構築・環境整備と第一次試行	① 4月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ2名採用） ② 4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営に係る調査及び工事（初年度）のうち設計、情報メディアユニオン棟等改修工事（初年度）の実施（竣工予定日：3月31日） ③ 7月　R7年度増員分に係る概算要求 ④ 7~2月　R7年度増員分に係る募集内容の公表、入試実施 ⑤ 2月　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教員1名採用） ⑥ 2月　R7年度増員分に係る学則改正学内手続 ⑦ 翌年度7月　自己点検・評価結果とりまとめ・公表 ⑧ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの体制構築・環境整備と第一次試行		
令和7年度	7月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士後期課程）、 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士後期課程）、 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士後期課程） 入学定員改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出予定	7月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士後期課程）、 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士後期課程）、 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士後期課程） 入学定員改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営工事（2年目）~~及び情報メディアユニオン棟等改修工事（2年目）の実施（竣工予定日：3月31日）~~（R6.3.21承認） ③ 7月　R8年度増員分に係る概算要求 ④ 9月　R8年度増員分に係る募集内容の公表 ⑤ 2月　R8年度増員分に係る入試実施、学則改正学内手続 ⑥ 3月　自己点検・評価結果とりまとめ・公表 ⑦ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの第二次試行 ⑧ 4月　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教員10名採用）（R7.3.26承認） ⑨ 4月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ1名採用）（R7.3.26承認） ⑩ 1月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ1名採用）（R8.2.3承認）	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営工事（2年目） ③ 7月　R8年度増員分に係る概算要求 ④ 9月　R8年度増員分に係る募集内容の公表 ⑤ 2月　R8年度増員分に係る入試実施、学則改正学内手続 ⑦ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの第二次試行 ⑧ 4月・9月　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教員10名採用：4月9名・9月1名） ⑨ 4月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ1名採用） ⑩ 1月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ1名採用）		
令和8年度			令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③ 3月　自己点検・評価結果とりまとめ・公表 ④ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの本格運用開始 ⑤ 通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検・改善、本学教学IR部門による分析 ⑥ 4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営工事（3年目）（竣工予定日：3月31日）（R6.3.21承認）			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③ 3月　自己点検・評価結果とりまとめ・公表 ④ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施・点検・改善 ⑤ 通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検・改善、本学教学IR部門による分析 ⑥ 4月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ1名採用）（R8.2.3承認）			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③ 3月　自己点検・評価結果とりまとめ・公表 ④ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施・点検・改善 ⑤ 通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検・改善、本学教学IR部門による分析			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③ 3月　自己点検・評価とりまとめ・公表 ④ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施・点検・改善 ⑤ 通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検・改善、本学教学IR部門による分析			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③ 3月　自己点検・評価とりまとめ・公表 ④ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施・点検・改善 ⑤ 通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検・改善、本学教学IR部門による分析			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③ 10月　外部評価の実施 ④ 3月　外部評価結果の公表 ⑤ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施・点検・改善 ⑥ 通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検・改善、本学教学IR部門による分析			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	① 通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ② 通年　外部評価結果を受けた改善方策の検討、順次実施 ③ 5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ④ 3月　自己点検・評価とりまとめ・公表 ⑤ 通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検・改善、本学教学IR部門による分析 ⑥ 通年　グローバル・マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施・点検・改善（R6.7.17承認）			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	筑波大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑬の要件を満たしていない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	申請中もしくは申請を予定している

４－１.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■つくば市は、R元年度に国土交通省「スマートシティモデル」事業先行モデルプロジェクト（全国で15事業）に採択されており、R4年度に内閣府「スーパーシティ型国家戦略特区」に指定された。これらの事業は本学のシステム情報系も密接に関連し、増員対象組織の教員も一部参画している。ここから得られる社会実装的な問題を教育研究の題材にも活用し、教育研究の題材として高度化を図ることができる。 ■博士後期課程学生のインターシップ推進の観点から、学生への給付金を含む企業とのパートナーシップ協定を締結している。現在、「NEC・筑波大学DXリーダー育成戦略パートナーシップ協定」（R4.4締結）と「UiPath・筑波大学DXスペシャリスト育成戦略パートナーシップ協定」（R4.11締結）の2協定を締結しており、これを活用するとともに、同様の連携協定を結ぶ企業を増やし、拡充を図る。 ■先端的ITベンチャー7社をパートナー企業として、PBL型の「組み込み技術キャンパスOJT」を実施。14年の実績を持ち330名を超える若手技術者を育成（第2期enPiTにも組込）した。これを基盤に実践的教育の質と量の一層の向上を図る。（情報学群を中心に実施）	■昨年度に引き続き、つくば市との連携において、毎月1回以上の頻度で打合せを実施している。自動運転バス事業を共同で実施し、筑波大学を実証拠点として3ヶ月間の実証を行い、アンケート調査により良好なフィードバックを得た。また、R8年1月13日には、つくば市周辺部における「住民の声を聴く」イベントにおいて、教員各位が参加し、区長や住民から市の問題・課題に関する意見交換を行うとともに、「小田ラボ」設立に向けた活動を行い、現実課題に基づく人材育成の場の形成に務めている。 ■既存の5つの戦略パートナーシップについては、企業と連携した授業、対話セミナー、インターンシップなどに有効活用されている。R7年に締結した最新の協定を通じて、計1000人以上の学生・企業職員が参加してワークショップや意見交換を行われるなど、研究・教育統合による実践的人材育成が始動した。また、地域企業との戦略パートナーシップの拡大に向けて、取手市の鋼構造メーカーである日本ファブテック（株）に対して、インターンシップ受入れおよび共同研究の実現に向けて交渉を開始した。AIの影響を受けにくいとされるHALO企業である同社においても、データサイエンス、AIに関する高度情報人材を強く欲していることを確認した。同社はR8年9月に開催予定の業界研究セミナーに参加の意向を示しており、戦略パートナーシップ締結に向け交渉を継続する。 ■パートナー企業7社との産学協同教育プログラム「組み込み技術キャンパスOJT」を実施して27名の学生が受講し、第2期enPiTにおいても53名の学生が受講した。R7年度の第17期までで460名を超える情報学群生を教育し、優秀な技術者を輩出している。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■初等中等教育段階の生徒の関心に応じた個別指導やSTEAM教育を行うGFEST（高校生対象／H20年～）及びSKIP（小中学生対象／H29年～）を実施。米国科学コンテストISEF日本代表（6名）、国際科学技術オリンピック日本代表（10名以上）等の実績を持つ。これまで生物系を中心に実績を積んできており、今後情報系の拡充も進める。 ■情報分野における高大連携の取組として、H7～R3年度までに351件の出前授業・模擬講義・研究室体験等を実施（茨城県150件、東京都53件、埼玉県44件、福島県21件、群馬県20件ほか、要請に応じ全国的に展開）。今後も積極的に実施する。 ■茨城県と連携し、県立高校情報科の「情報Ⅰ」の授業に本学学生を授業補助者として派遣する取組をR5年度から開始する。学生が高校教員とのチームティーチングにより授業に参画することで、高校の情報教育に貢献するとともに、学生の指導者としての資質向上を図る。	■GFEST及びSKIP受講生89名に対して、本学教員による講義、本学計算科学研究センター（全国共同研究施設）でのスーパーコンピュータ「Pegasus」の見学やスーパーコンピュータを使用した研究の紹介、変数を操作して最適解を探すためのプログラミングを行う「プログラミング演習」や本学卒業生が指導等を行う「情報リテラシー演習」等を実施し、情報系プログラムの拡充を図った。 ■高等学校からの出前授業・模擬講義・研究室体験等の実施要望は高まっており、R7年度は年間170件を実施している。また、情報分野における高大連携の取組として年間17件を実施しているが、R7年度は新たに公開講座1件及び公開授業1件を茨城県と連携し、県立高校生を対象に実施した。今後も高等学校からの要望に応じて積極的に実施していく。 ■R7年度も引き続き、茨城県と連携して学生を県内の高等学校へ派遣し「情報Ⅰ」の授業へ補助者として参画した。学生は生徒に教えることで知識の定着を図ることができ、また教え方を試行錯誤することで新たな視点を得るなど、特に教職を希望する学生の成長にも繋がっている。なお、この取り組みは今後も継続することとしている。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■女子学生：女子中高生の理工系進路選択プログラムとして「リケジョ合宿」や「サイエンスカフェ」等を実施する（H25年度から実績あり。例年全国から女子中高生・保護者が参加）。全学組織としてジェンダー支援チームを設置しており、今後も幅広く取組を推進する。 ■社会人学生：大学院において社会人特別選抜、昼夜開講制、長期履修制度を活用する。博士後期課程においては、一定の研究業績や能力を有する社会人を対象として最短1年で課程博士を取得できる早期修了プログラムを実施する（H19年度の開始からR4年度までに520人が履修し、446人が1年で修了している）。 ■留学生：大学院においては一般入試による留学生受入に加え、海外居住者対象特別選抜、国費留学生優先配置特別プログラム等を行う。さらにグルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラムを準備している（R5年9月開始予定）。学士課程においては、英語プログラムを継続実施するとともに、令和7年度から学群入学定員の5%を留学生や帰国生徒等を対象とした募集人員として設定する。	■女子学生：女子中高生および女子大学生を対象とした理工系分野への関心喚起と進路選択支援を目的に、以下のとおり複数のアウトリーチ活動を実施した。 ・京都女子大学においてデータサイエンスの活用に関する特別講演を実施し（参加者約30名）、分野横断的なデータ活用の意義を伝えた。 ・筑波大学の理系女子学生コミュニティ「Co-Lab」を中心に、「のぞき見サイエンス」と題した女子中高生と女性研究者・女子学生が交流できるイベントを夏に2回、冬に1回実施した。夏のイベント「のぞき見Science2025はじめてラボ」では、ミニ講演および発表会に参加し（参加者86名、抽選あり）、研究内容やキャリアパスに関する情報提供と交流機会の創出を行った。 ・横浜女学院中学校高等学校の「土曜チャレンジ」において、「優しさ×データ×まちづくり」をテーマとしたPBL型授業を実施し（参加者30名、抽選あり）、社会課題とデータサイエンスの接続を体験的に学ぶ機会を提供した。 今後の計画としては、これらのアウトリーチ活動を継続的に展開するとともに、令和8年度には県内高等学校（江戸川学園取手高等学校）において高校3年生全生徒を対象に、AI時代におけるキャリア形成と教育に関する講演を実施予定であり、より広範な層への働きかけを強化する。 また、理工学群及び情報学群の対象学類並びにシステム情報工学研究群の対象学位プログラムでは、女子学生確保のための方策として、以下を実施した。 ・オープンキャンパスにおいて、現役女子学生による高校生向けの情報提供を実施 ・女子高を含む高校への出前授業や、オープンキャンパスでの模擬講義などの参加・体験型プログラムを実施 ・学群・学類において、広報動画の作成・配信を行うとともに、ホームページやSNSを活用した分かりやすい情報発信を実施 ・学群紹介動画「私のサイエンスライフ―選んだ道が、私の未来を切り拓く力になる」を作成し、進路選択に資する情報を発信 ・ホームページにおいて女性教員紹介ページを設け、ロールモデルを提示 ・入学時に女子学生オリエンテーション（上級生参加）を実施し、学年間の縦のつながりを形成するとともに、相談しやすい環境を整備 ・クラス連絡会において、女子学生の視点による意見収集を実施 ・トイレの全面洋式化やウォシュレット整備など、女子学生の受入を意識した学習環境の整備を推進 ・卒業時に女子学生を対象とした表彰（工学システム学類Futureship賞。令和8年3月の受賞者3名）を実施し、ロールモデルの可視化を推進 ■社会人学生：システム情報工学研究群の対象学位プログラムでは、社会人特別選抜を実施し、R8年度入試では博士前期課程で3名（志願者11名）、博士後期課程で16名（志願者24名）の入学者を得た。また、長期履修制度についてはR8年度は博士前期課程で1名、博士後期課程で3名が利用し、博士後期課程を対象とした早期修了プログラムについてはR7年度において10名の修了者を輩出し、R8年度は12名が履修中である。 人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、社会人特別選抜を実施し、R8年度入試では博士前期課程で2名（志願者7名）、博士後期課程で2名（志願者5名）の入学者を得た。長期履修制度については、R7年度は博士前期課程で12名、博士後期課程で4名が利用している。また、働きながら司書としてのキャリアアップ等を目指す履修証明プログラムである図書館経営管理コースを実施しており、R7年度は6名が修了した。 ■留学生：システム情報工学研究群の対象学位プログラムでは、R8年度入試では一般選抜等において博士前期課程で49名（志願者84名）、博士後期課程で19名（志願者23名）の入学者（博士後期課程においてR8年10月入学予定者3名を含む）を得た外、海外居住者対象特別選抜を実施し、博士前期課程で5名（志願者5名）の入学者を、博士後期課程で1名（志願者2名）のR8年10月入学予定者を得た。また、国費留学生優先配置特別プログラム入試を実施し、博士前期課程で7名（志願者11名）、博士後期課程で6名（志願者9名）の入学者を得た外、博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学及びルール大学ボーフムとのダブル・ディグリープログラムにおいて5名（志願者5名）の入学者を得た。さらに、学士課程において定員増の対象となった学類が定員の一部を拠出する外国人留学生を対象とした英語プログラム：総合理工学位プログラムにおいて25名（志願者207名）の合格者（R8年9月入学予定）を得た。 人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、英語受験者特別選抜を実施し、博士前期課程で志願者26名に対し4名の合格者（R8年10月入学予定）を得た。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	筑波大学

④　他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■Campus-in-Campus（CiC）協定（10校）、大学間国際交流協定（172校）、情報分野の部局間国際交流協定校（22校）を活用し、学生・教職員の派遣・受入を積極的に行う。（CiC：海外パートナー大学とのキャンパス機能の共有に向けた取組） ■これらの国際ネットワークを活用し、海外協定大学等の研究者を含む協働研究指導を可能とする「グローバル・マルチメンターシステム」を構築し、学生の研究の高度化と国際通用性を高める枠組みとして機能させる。 ■国際的にもリーダーシップを発揮できる高度情報専門人材の育成機能を強化する観点から、情報理工学位プログラム（博士前期課程）において、グルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）とのダブル・ディグリープログラムを準備中である（R5年9月開始予定）。これを先導として、他の協定校とも同様な連携を図る。	■全学的な国際交流協定（Campus-in-Campus（CiC）協定：13校、大学間国際交流協定：188校（前年度比+11）、情報分野の部局間国際交流協定校：18校（前年度比-4））を活用したGMMS（グローバル・マルチメンターシステム）の構築に向けた取組を進めており、GMMSとして、海外大学の教員との研究交流を本学の学位プログラムの特質に合わせつつ実施した。 ■GMMSでは、本学学生に海外を含めた他大学の研究者・学生との交流を促すべく、R7年度より新たにMDAワークショップを立ち上げ、今年度は2回のワークショップを行った。R8年2月に実施した第1回MDAワークショップ「漢陽大学との交流ワークショップ」では、韓国漢陽大学の教員1名・学生6名が本学を訪問し、漢陽大学から5名、筑波大学から3名の大学院生が英語での発表および議論を行った。R8年2月に実施した第2回MDAワークショップ “Interfaces of control theory, biology, and machine learning” では、チューリッヒ工科大学の研究者を含め、他大学教員2名、本学教員1名、大学院生3名による研究発表および討論を実施した。 ■GMMSとして情報学学位プログラムでは3つの交流を実施した。R7年5月にはワシントン大学の研究科長が訪問し本学学生に向けて講演会を実施するとともに、情報学学位プログラムの研究室訪問（3箇所）を行い学生・教員との交流を図った。R7年6月にはイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の副研究科長が訪問し本学学生に向けて講演会を実施するとともに、情報学学位プログラムの研究室訪問（3箇所）を行い学生・教員との交流を図った。R7年8月には南京大学信息管理学院の学部長を含む教員3名と学生13名が本学を訪問し、図書館情報メディア系所属の教員2名が講演および質疑応答を実施した。また、情報学学位プログラムの学生と南京大学の学生による交流会を行い、学内施設見学や市内の研究施設見学を行った。 ■博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）とのダブル・ディグリープログラムにおいて、R6年度からR7年度にかけて2名の学生を受け入れ（1名は途中帰国）、2名の学生を派遣、R7年度からR8年度にかけて2名の学生を受け入れ、1名の学生を派遣し、それぞれ1授業履修と研究活動を行った。また、R8年度の学生として、先方からは3名が合格し、本学からは2名が先方への入学手続きを進めている。さらに、ルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）との博士前期課程を対象としたダブル・ディグリープログラムについて、協定締結し、R7年11月に3度の合同ワークショップを実施した。R8年度の学生として、先方から2名が合格し、本学からは3名が先方への入学手続きを進めている。 ■数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの教育用データベース分科会に参加し、同分科会として策定した「数理・データサイエンス・AI（MDA）教育における課題解決型学習（PBL）のつくり方」において、高等専門学校等（苫小牧高専、室蘭工大、久留米工大）による特色のある取組事例を積極的に取り上げた。	

４－２.審査要項における確認項目（３つの取組、６つの観点）の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ申請時の計画を記載してください（３つの取組のみ計画の記載は不要です）。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

＜３つの取組＞

■ チェック　[１]海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。
□ チェック　[２]デジタル人材の不足を解消するために、自大学の教育の高度化や定員の大幅な拡充を図るのみならず、他の大学・高等専門学校の学生も広く参加可能な優れた情報教育プログラムを横展開させる取組となっているか。
■ チェック　[３]地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。

取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
[１]海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。 GMMS（グローバル・マルチメンターシステム）として以下の取組を行っている。 ■GMMSでは、本学学生に海外を含めた他大学の研究者・学生との交流を促すべく、R7年度より新たにMDAワークショップを立ち上げ、今年度は2回のワークショップを行った。R8年2月に実施した第1回MDAワークショップ「漢陽大学との交流ワークショップ」では、韓国漢陽大学の教員1名・学生6名が本学を訪問し、漢陽大学から5名、筑波大学から3名の大学院生が英語での発表および議論を行った。R8年2月に実施した第2回MDAワークショップ “Interfaces of control theory, biology, and machine learning” では、チューリッヒ工科大学の研究者を含め、他大学教員2名、本学教員1名、大学院生3名による研究発表および討論を実施した。 ■GMMSでは、学生、学外研究者、企業との連携のために、マッチングポータルの開発とシステム提供を実施した。具体的には学内のヒューマンエンパワーメント推進局（BHE）と共同で、PhD×FUTURE.（若手研究者のためのwebサロンシステム）の改修を前年度より1年以上かけて行い、R8年3月に納品に至った。またR7年10月には新規PhD×FUTURE.の運用に向け、MDA担当教員とBHE担当者で情報交換会を実施し、学内組織間の連携も強化した。新規PhD×FUTURE.はR8年4月より運用を開始し、イベント紹介を含めたマッチングポータルとして活用されている。 ■情報学学位プログラムでは3つの交流を実施した。R7年5月にはワシントン大学の研究科長が訪問し本学学生に向けて講演会を実施するとともに、情報学学位プログラムの研究室訪問（3箇所）を行い学生・教員との交流を図った。R7年6月にはイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の副研究科長が訪問し本学学生に向けて講演会を実施するとともに、情報学学位プログラムの研究室訪問（3箇所）を行い学生・教員との交流を図った。R7年8月には南京大学信息管理学院の学部長を含む教員3名と学生13名が本学を訪問し、図書館情報メディア系所属の教員2名が講演および質疑応答を実施した。また、情報学学位プログラムの学生と南京大学の学生による交流会を行い、学内施設見学や市内の研究施設見学を行った。 ■情報理工学位プログラムでは、R7年11月にルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）と共同で、各大学のプログラムや研究分野の紹介およびR8年4月より開始するダブル・ディグリープログラムを紹介するワークショップを合計3回開催し、互いの理解や今後の連携を深める取り組みを行った。R8年1月には当該プログラムのための特別選抜を実施し、2名の学生をルール大学ボーフムより受け入れることが決定した。また、筑波大学からは3名を派遣する予定となっている。 [３]地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。 LCHS（「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム）として以下の取組を行っている。 ■60の企業・団体と新たな連携関係を構築・強化した。こうした企業等が参加する授業を開講し、セミナーを開催するなど、高度情報専門人材を育成するための取組を行った。 ■R8年1月24日に、つくばスーパーサイエンスシティ構想担当のつくば市政策イノベーション部科学技術振興課との共催で、市役所、大学と市民が共に地域課題の解決について考えるHackMyTsukuba2025として「地域の交通に」をテーマとしたワークショップを開催し、日頃利用する公共交通とその目的および交通（移動）を便利にする新たなサービスについてグループディスカッションを行い、グループ発表を行った。 ■博士後期課程進学者の拡大に向けては、経済的支援の充実が不可欠である。このため、LCHSの活動として、企業等との連携による共同研究機会の拡充に着手し、実務課題の解決を通じて産業ニーズに即した高度情報専門人材の育成を推進している。今年度は、企業の具体的な課題解決と学生への経済的支援を両立するフェローシップ型共同研究制度の設計を行った。本制度により、学生は企業の実課題に継続的に取り組みながら、企業からの経済的支援（SPRING相当を想定）を受け、高度な専門性と実践力を修得することが可能となる。今後、令和8年度より企業への提案活動を開始し、産学連携の枠組みを拡大することで、企業ニーズを踏まえた博士人材の継続的な輩出につなげ、地域および我が国の産業振興に資する取組として発展させていく。	

＜６つの観点＞

①　大学院博士課程を含め、情報系分野の大学院において、大規模な定員増を実施する計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士前期課程90人、博士後期課程16人を増員する計画である。この計画により、 【博士前期課程】これまでの合計募集人員270人に対し、33.3%の定員増。R2からの実入学者数の年平均値330人に対し、合計新規定員360人 【博士後期課程】これまでの合計募集人員53人に対し、30.1%の定員増。R2からの実入学者数の年平均値67人に対し、合計新規定員69人 となる。この増員とともに、前記の３つの取組を行い質的な向上を図る。本事業により、トップ人材育成の実施母体である博士後期課程とその裾野となる博士前期課程を拡充し、また学士課程の増員も行って、トップ人材育成の基盤を強化する。増員対象組織は、これまで学生確保の十分な実績を有しており、増員後も安定的な学生確保が可能である。	■申請時の計画に従って、以下のとおり定員増を実施している。 【博士前期課程】これまでの合計募集人員270人に対し、90人（33.3%）の定員増を行った。定員増に応じた募集人員により入学試験を行った結果、合計新規定員360人に対し371人の入学者を得た。 【博士後期課程】令和8年度から、これまでの合計募集人員53人に対し、16人（30.1%）の定員増を行うこととしている。定員増に応じた募集人員により入学試験を行った結果、合計新規定員69人に対し91人の入学者を得た。 また、学士課程については「収容定員関係学則変更計画書」を文科省に提出し、令和7年度から定員増を行った。定員増に応じた募集人員により入学試験を行った結果、合計新規定員311人に対し322人の入学者を得た。	

②　広く企業や自治体等と連携し、企業や自治体等が求める人材ニーズに的確に応える計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行するLCHSを構築し、博士後期課程に進学した学生に、学生が志向するキャリア形成に資する長期インターンシップ等を組み込んだエキスパート人材育成を展開する。博士前期学生に対して、就職希望先との繋がりを確保しつつ博士後期に進学できるよう、企業との戦略的パートナーシップを構築し、これまで博士後期進学が望まれながらも修士取得後就職を選択していた優秀な学生層に対して、博士学位取得への強いインセンティブを創出し、社会の人材ニーズを的確に捉えたより高度な情報専門人材を輩出する。すでに本学は学生への給付金を含む企業とのパートナーシップ協定を2件締結しており（後述）、今後も拡充を図りながら取組を推進する。また、R4年度につくば市が内閣府「スーパーシティ型国家戦略特区」に指定を受けた「つくばスーパーサイエンスシティ構想」では、大学・国研連携型スーパーシティの実現が掲げられている。その実現に向けた取組の中で、デジタル・情報系分野の教育研究の一層の高度化を図る。	■LCHS構築の一環として、R7年1月8日に株式会社セガと「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した。R7年度は本協定に基づき連携を具体化し、AIを活用した高度ゲーム開発に求められるコンピテンシーの整理と人材育成モデルの検討を進めた。学生向け講演会では100名以上の応募があり、ワークショップも実施した。さらに、社内展示会に出展し、1,000人以上の参加者から意見を収集するとともに、博士後期課程レベルの人材育成について議論を深めた。また、本協定を通じて学生がMDAインターンシップ科目で単位取得を行い、メタバース工学演習についても意見交換を行うなど、研究・教育が統合化された実践的人材育成を推進している。 ■スーパーシティ型国家戦略特区に指定されているつくば市の政策イノベーション部と協議し、データサイエンス視点で課題解決に取り組める実務課題を特定し、そのリアルな課題の解決に実データを用いて取り組むことに関心のある全学の博士前期・後期課程学生とつくば市の実務担当者によるグループワーク型の課題解決学習（PBL）を進めている。具体的には「MDAトップ人材養成/育成特別演習」という科目において、博士前期・後期課程の4人の学生、つくば市都市計画部サイクルコミュニティ推進室の実務担当者と実社会の第一線で活躍中のデータサイエンティストが、つくば市が運営するシェアサイクル「つくチャリ」の赤字解消問題を題材として約6ヶ月間取り組み、潜在需要の予測に基づく自転車車両再配置の台数と時間帯の最適化によって赤字を改善する提案を行った。このように、データサイエンス視点で企業、自治体等と共に取り組める実課題の解決と一体となったPBLを提供することを通して、企業、自治体等が求める人材ニーズに対応できる人材を育成している。 ■情報学学位プログラムでは、NTTドコモが新規事業として計画した生成AIを活用した書籍向けQ&Aサービスおよび当該サービスを担う株式会社の設立を受け、同社からの依頼に基づき、プロトタイプシステムに対して専門的見地から助言を行った。あわせて、本プログラムの文理融合という特性を活かし、生成AIを活用したサービス評価を担う人材の育成について、今後も継続的に議論を進めていくことを確認した。	

③　連携企業等からの寄附等、外部資金の持続的な獲得が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士レベルの高度情報専門人材育成の充実を図るため、企業が寄付金も拠出する戦略的パートナーシップ協定の締結を順次進めている。この協定に基づき、学生は企業においてDX分野の共同実務及び共同研究に従事して実践的能力を高めるとともに、相応の給付金を得る。現在、「NEC・筑波大学DXリーダー育成戦略パートナーシップ協定」（R4.4締結）と「UiPath・筑波大学DXスペシャリスト育成戦略パートナーシップ協定（R4.11締結）の２協定を締結しており、今後も同種の協定を増やし、寄付金総額も増加するよう勧誘する。なお、システム情報工学研究群関係では、企業・研究機関とのコンソーシアムを基盤として学位プログラムを運営する協働大学院方式も独自に設けており、外部専門家47人が、連携大学院教員・協働大学院教員として研究指導等に参画している（R4.5.1現在）。これらにより産業界等との連携を深め、学外の人的・物的リソースを活用し大学院教育の充実・高度化も進める。この連携が学内教員との共同研究も生み、共同研究費などの獲得にも繋げる。	■R7年6月には、「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した1社より人材育成支援の寄附金を受領し、さらに17社からも年度内に寄附金を獲得した。 ■システム情報工学研究群では、外部専門家45人（R8.5.1現在）の参画を得て、連携大学院方式及び協働大学院方式による研究指導を実施し、産業界等との連携の深化と、大学院教育の充実・高度化に引き続き務めている。	

④　高度情報専門人材を育成する大学・高等専門学校において質の高い教育を行う教員を養成・輩出する取組（当該分野の大学教員等の育成）を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学MDA教育のトップ人材育成においては、イノベーション創出力に優れ、かつ社会が要請するMDA人材を育成できる素養を持ち、アカデミアや産業界のリーダーとなる人材の育成を目指している。このため、特に優秀な学生を10名程度選抜し、「トリプル・メンター制」（MDA分野、学際的融合研究を実施する分野、MDA関連企業等から各１名を指定し第一級の研究者３名による研究指導）、「トップ人材養成特別演習」（トップ企業人やベンチャー企業人により徹底して人材育成とMDA応用のスキルを涵養）、「特別リサーチアシスタントへの任命」（計算科学研究センターにおいて高度なAI研究に従事）による特別教育を行う枠組みがすでに構築されている。この枠組みの中に、GMMSから参画できる教員や研究者を加えることができ、この枠組みがさらに強化できる。特にGMMSに参加する海外大学の優れた教育方法も参照でき、学生が将来アカデミアになった場合の教員資質の向上にも役立つ。博士後期課程の学生が担当教員の下で授業も行うティーチング・フェローの制度により、これらに係る研修及び業務の経験から指導者としての資質向上も図られる。	■データサイエンス・エキスパート・プログラム（DSEP）の修了認定証取得者を9名輩出した。そのうち1名は博士後期課程修了と同時に横浜国立大学大学院国際社会科学研究院国際社会科学部門の講師として着任している。 ■筑波大学数理・データサイエンス・AI（MDA）教育推進室として「数理・データサイエンス・AI（MDA）教育における課題解決型学習（PBL）のつくり方」を教職員向けFD資料として作成し、R7年5月に公開した。また、それをベースとし、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム教育用データベース分科会としてBox記事（各大学等の取組を紹介した記事）を収集・統合し、R8年3月に公開するとともに、R8年3月に「データサイエンスPBLセミナー」～PBL授業準備・運営のポイントと取組事例の現在と未来～を開催した。 ■知能機能学位プログラムにおいて3名の学生をティーチング・フェローとして雇用し、指導者としての資質向上を図る取組を行った。	

⑤　連携企業等から実務経験のある人材の大学への派遣、学生が連携企業等においてインターンシップを実施する体制の構築、連携企業等との共同研究実施が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行するLCHSを構築する過程で、学生が連携企業等においてインターンシップを行う体制が整う。また、本学MDAトップ人材育成の枠組みにおいて、連携企業からの実務経験のある技術者あるいは企業研究者が講義を担当する科目も開設しており、増員対象組織の大学院に属する学生は、これらの講義を受講できる。なお、前述のように、学生が企業においてDX分野の共同実務及び共同研究にインターンシップとして従事して実践的能力を養うとともに、給付金を受けることができることを定めた協定を２件すでに締結しており、今後も同種の協定企業を増やす。また、連携大学院・協働大学院方式による外部専門家の研究指導等への参画を継続・充実させる。さらに、ハイレベル枠の取組の説明の3番目で記したように、デジタル・情報系に関わる民間企業の研究所を含む外部研究機関とのネットワークを充実させ、学生が自身の研究遂行に資する指導が受けられると期待できる教員・研究者と繋がることを支援する枠組みを整える。これにより、企業との共同研究も創発される。	■R7年9月に連携企業を拡大するための取組を実施し、60社との新たな連携関係を構築した。また、R7年5月、10月に学生と企業が直接繋がるためのセミナーを開催し、連携関係を一層強化した。学生からは、「実社会での現実課題の解決に、データサイエンスとAIが利用されている実例を知ることができ、これらの重要性を認識した。AI導入には組織のトップや上司の理解が重要という話が印象に残った。」との声があった。複数の民間企業と新たなネットワークを構築し、随時対面及びオンライン打合せを開催するなど、学生等と繋がるための仕組み作りと情報交換を行った。 ■連携企業等との協働による人材育成体制の構築を目的として、インターンシップおよび共同研究を通じて企業の実課題に継続的に取り組みながら高度な専門性と実践力を修得した学生を対象とする新科目「前期プロジェクト研究」をR7年度に開設した。本科目は、企業等における実務経験と研究活動を接続する教育枠組みとして位置付けている。また、連携企業からの実務経験を有する人材の大学への派遣については、MDAの最前線で活躍する博士研究者によるオムニバス形式の講義および課題演習からなる新科目「MDA実践研究演習」を設計するとともに、企業研究者8名による講師体制を整備した。本科目はR8年度秋学期に開設予定であり、企業人材の参画を通じた教育体制の強化を図るものである。これらの取組により、インターンシップ、共同研究、企業人材の参画を有機的に連携させた実践的な人材育成体制の構築を着実に進めている。 ■情報理工学位プログラムでは、NPO法人CeFIL、デジタルビジネスイノベーションセンター（DBIC）の支援を受け、産業界から招いた講師による講義や演習を通して、ICTを活用してイノベーションを起こす人材を育てることを目指す授業「ICT社会イノベーション特論」を実施した。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	筑波大学

⑥　他大学等の学生も参加できる情報教育プログラムの実施や教材作成等を含む質の高い取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
他大学と共同した教育活動として、グルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラム（修士）が令和5年度中に開始される予定であり、本計画の先導となる。この枠組みを本計画でも取り込むことにより、本学と相手大学双方の教育課程を履修しそれぞれの学位を取得することができる。この種の海外協定を今後増やす。このプログラムは相手大学の学生も参加し、相互の学生が参加する情報系のスキル向上を目指すPBLや研究討論などを行うことを計画している。相手大学の学生との交流により、本学の学生が自ら、他大学の教育・研究内容との相違や利点などを知ることもできる。なお、その学生の外部組織での経験が、本学内の指導教員に伝わることにより教員自身の啓発にもつながる可能性もある。この場合は、当該学生が本学内の指導教員に様々な経験を伝えるリバースメンターとなることになるが、その過程で当該学生のティーチングカもまた磨かれることになる取組である。LCHSの取組による企業インターンの経験も含め、学生が受けることが可能な経験が多層的になることが大きな特長である。本学のMDA教育実践の成果は対象学生の体験などもふまえた内容とし、学生の協力も得てマニュアル教材化し、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム等を通じて他大学と共有する。	■数理・データサイエンス・AI（MDA）教育推進室では、筑波大学の学生と研究者がデータサイエンスの視点から取り組んだ課題解決ケースを筑波大学データサイエンス・ケースバンクに蓄積し広く一般に公開している（R7年度末合計：79ケース、R7年度追加：17ケース）。また、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの教育用データベース分科会に参加し、MDA教育推進室が作成したPBLマニュアル（仮称）をベースとして「数理・データサイエンス・AI（MDA）教育における課題解決型学習（PBL）のつくり方」をコンソーシアムとして取りまとめ、R7年12月に公開、R7年度末に完成させた。さらに、このPBLのつくり方をコンソーシアム会員校に周知するために、教育用データベース分科会主催でR8年3月26日にオンラインシンポジウム「PBL授業準備・運営のポイントと取組事例の現在と未来」を開催した。 ■博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）とのダブル・ディグリープログラムにおいて、R6年度からR7年度にかけて2名の学生を受け入れ（1名は途中帰国）、2名の学生を派遣、R7年度からR8年度にかけて2名の学生を受け入れ、1名の学生を派遣し、それぞれ授業履修と研究活動を行った。また、R8年度の学生として、先方からは3名が合格し、本学からは2名が先方への入学手続きを進めている。さらに、ルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）との博士前期課程を対象としたダブル・ディグリープログラムについて、協定を締結し、R7年11月に3度の合同ワークショップを実施した。R8年度の学生として、先方から2名が合格し、本学からは3名が先方への入学手続きを進めている。 ■R7年度において、英語で実施される講義の受講を目的とした海外協定校からの短期留学生の受け入れを情報学学位プログラムでは8名実施している。	

５－１.大学院（修士課程、博士課程）における学生の研究活動実績

令和7年度 大学院在籍学生の論文の採択・受賞状況や各コンペティション等の受賞状況、筆頭著者論文数等、学生の研究活動実績を記載してください。

■情報理工学位プログラムの実績（情報理工学位PL）
・査読制度のある学術雑誌へ投稿し受理された論文件数 30件
・査読制度のある国際会議録へ投稿し受理された論文件数 83件
・口頭発表件数（国際会議論文としてカウントしたものは除く） 147件
・受賞 29件

■知能機能学位プログラムの実績（知能機能学位PL）
調査項目：大学院（博士前期課程、博士後期課程）における学生の研究活動実績として以下の5項目
・編著書の刊行数：3件
・国内外の学術雑誌（研究ジャーナル）への論文の採択・掲載（掲載決定も含む）数：60件
　上記のうち 単著：0件、筆頭著者となるもの：56件、査読付：59件
・国内外の学会や会議、シンポジウム等での発表（ポスター発表も含む）件数：270件
・学術研究に関するコンペティション等での受賞数：41件
・官民の機関や団体等からの研究助成件数：38件 ※学振特別研究員及びJST SPRING/BOOSTを含む

■情報学学位プログラムの実績（情報学学位PL）
・査読制度のある学術雑誌へ投稿し受理された論文件数 38件
・査読制度のある国際会議録へ投稿し受理された論文件数 55件
・著書件数 11件
・口頭発表件数 91件
各種受賞
・学会、フォーラム受賞 9件
◎大学のウェブサイトの情報発信等URL（各種受賞：https://informatics.tsukuba.ac.jp/category/awards-cl/）

５－２.大学院（修士課程、博士課程）における学生の卒業後の進路状況

令和7年度 大学院卒業者の卒業後の進路状況を記載してください。就職先企業名や研究機関名、業種、職種、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。

【情報理工学位プログラム(博士前期)】：就職 107名、進学 17名、その他 6名、進路不明 9名
◆就職先内訳 企業・団体等：99名、研究員：1名、公務員：1名、自営業：2名、職務復帰：4名
主な就職先
・メーカー：株式会社日立製作所、株式会社クボタ、トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社アイシン、株式会社デンソー、株式会社豊田自動織機、ルネサスエレクトロニクス株式会社、株式会社小松製作所、ダイキン工業株式会社、セイコーエプソン株式会社、富士通株式会社、東京エレクトロンTS株式会社、東芝テック株式会社、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社、パナソニックエンターテインメント＆コミュニケーション株式会社、株式会社バンダイ、株式会社熊谷組、日立プラントコンストラクション 等
・ソフトウェア・通信：アクセンチュア株式会社、LINEヤフー株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント、株式会社NTTドコモ、東日本電信電話株式会社(NTT東日本)、KDDI株式会社、株式会社メルカリ、SCSK株式会社、任天堂株式会社、楽天株式会社、楽天グループ株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社野村総合研究所、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、さくらインターネット株式会社、日鉄ソリューションズ株式会社、株式会社Cygames、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社、freee株式会社、株式会社ジャストシステム、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社、株式会社日本総合研究所、合同会社DMM.com、株式会社ドワンゴ、NTTドコモビジネス株式会社、NTTデータ先端技術 等
・マスコミ：日本放送協会(NHK)、株式会社サイバーエージェント 等
・サービス：アマゾンジャパン株式会社、東日本高速道路株式会社、株式会社リクルートホールディングス、東京トヨタ自動車株式会社、株式会社トヨタ車体研究所、シンプレクス・ホールディングス株式会社、パーソルクロステクノロジー株式会社 等
・公官庁・公社・団体：防衛省、東海村役場、東京大学 等
◆進学先内訳
主な進学先 筑波大学 等
【情報理工学位プログラム(博士後期)】：就職 25名、その他 5名、進路不明 4名
◆就職先内訳 企業・団体等：8名、教員：1名、研究員：6名、職務復帰：8名、独立行政法人：2名
主な就職先
・メーカー：ボッシュ・レックスロス株式会社、ルネサスエレクトロニクス株式会社、日立Astemo株式会社、(株)キャノンメディカルシステムズ、横浜ゴム株式会社 等
・ソフトウェア・通信：NTT株式会社、株式会社フィックスターズ 等
・サービス：株式会社ファーストラインスタジオ 等
・公官庁・公社・団体：国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、一般財団法人 電力中央研究所、筑波大学 等

【知能機能システム学位プログラム(博士前期)】：就職 92名、進学 26名、その他 3名、進路不明 14名
◆就職先内訳 企業・団体等：90名、自営業：1名、職務復帰：1名
主な就職先
・メーカー：本田技研工業株式会社、キヤノン株式会社、ヤマハ株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社日立製作所、株式会社クボタ、富士通株式会社、カシオ計算機株式会社、株式会社リコー、株式会社デンソー、株式会社小松製作所、オリンパス株式会社、パナソニック コネクト株式会社、株式会社日立ハイテク、日本ヒューレット・パッカード合同会社、ソニー株式会社、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社、日立ヴァンタラ株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ネスレ日本株式会社、ヤマハ発動機株式会社、三菱重工業株式会社、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、株式会社村田製作所、日本電気株式会社、日本光電工業株式会社、ボッシュ株式会社、ファナック株式会社、住友重機械工業株式会社、能美防災株式会社 等
・ソフトウェア・通信：日鉄ソリューションズ株式会社、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、NTT株式会社、株式会社日立産業制御ソリューションズ、株式会社野村総合研究所、弥生株式会社、株式会社フジ・ネクステラ・ラボ、フューチャーアーキテクト株式会社、ウルシステムズ株式会社、シリコンスタジオ株式会社、アビームコンサルティング株式会社、株式会社アプリズム、株式会社レアゾン・ホールディングス、TechShare株式会社 等
・金融：株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJアセットマネジメント株式会社、野村アセットマネジメント株式会社、株式会社ネットプロテクションズ 等
・マスコミ：株式会社サイバーエージェント 等
・サービス：東京電力ホールディングス株式会社、日本航空株式会社、株式会社リクルート、株式会社リクルートホールディングス、株式会社コーエーテクモホールディングス、株式会社イー・スピリット 等
・商社：伊藤忠商事株式会社 等
・公官庁・公社・団体：陸上自衛隊、学校法人神奈川大学 等
◆進学先内訳
主な進学先 筑波大学 等
【知能機能システム学位プログラム(博士後期)】：就職 16名、その他 2名、進路不明 4名
◆就職先内訳 企業・団体等：5名、教員：1名、研究員：5名、職務復帰：5名
主な就職先
・メーカー：富士通株式会社、株式会社日立製作所、THK株式会社、株式会社小森コーポレーション 等
・ソフトウェア・通信：NTT株式会社、株式会社セガ 等
・サービス：地域おこし協力隊 等
・公官庁・公社・団体：筑波大学、茨城大学、名古屋工業大学、愛知産業大学 等

【情報学学位プログラム(博士前期)】：就職 50名、進学 12名、その他 11名
◆就職先内訳 企業・団体等：42名、公務員：2名、自営業：3名、職務復帰：3名
主な就職先
・メーカー：株式会社日立製作所、ソニー株式会社、サントリーホールディングス株式会社、キリンホールディングス株式会社、株式会社小糸製作所、株式会社日立ビルシステム、株式会社日立ニコトランスミッション 等
・ソフトウェア・通信：NTTデータ株式会社、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、楽天グループ株式会社、株式会社ウェザーニューズ、株式会社野村総合研究所、JFEシステムズ株式会社、LINEヤフー株式会社、日鉄ソリューションズ株式会社、株式会社バンダイナムコフィルムワークス、リコーITソリューションズ株式会社、TOPPAN株式会社、アルテンジャパン株式会社、システムリサーチ株式会社、KDDIアジャイル開発センター株式会社、DATUM STUDIO株式会社、株式会社サイバーコネクトツー、PwCコンサルティング合同会社、EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社、株式会社マイベスト、株式会社ソフトウェア・サービス、Ridgelinez株式会社、株式会社AIdeaLab、合同会社馬車馬テクノロジーズ、株式会社日本能率協会総合研究所 等
・サービス：株式会社コーエーテクモホールディングス、特許業務法人志賀国際特許事務所、シンプレクス・ホールディングス株式会社、Digital Experts株式会社、東京歯科大学歯学部水道橋病院、株式会社豊田中央研究所、株式会社八ノ森 等
・マスコミ：日本経済新聞社、株式会社Cloudtrons 等
・公官庁・公社・団体：宮城県庁、小田原市役所、埼玉県立図書館、学校法人渋谷教育学園 幕張中学校・高等学校
◆進学先内訳
主な進学先 筑波大学、東京大学 等
【情報学学位プログラム(博士後期)】：就職 3名、その他 1名
◆就職先内訳
主な就職先 企業・団体等：1名、研究員：1名、職務復帰：1名
・メーカー：株式会社日立製作所 等
・公官庁・公社・団体：国立情報学研究所、聖徳大学 等

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	筑波大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況
令和5年度	選定時留意事項	女子学生確保のための方策について、分野の特有性を理解した上で積極的に取り組むことが求められる。	○女子中高生および女子大学生を対象とした理工系分野への関心喚起と進路選択支援を目的に、以下のとおり複数のアウトリーチ活動を実施した。 ・京都女子大学においてデータサイエンスの活用に関する特別講演を実施し（参加者約30名）、分野横断的なデータ活用の意義を伝えた。 ・筑波大学の理系女子学生コミュニティ「Co-Lab」を中心に、「のぞき見サイエンス」と題した女子中高生と女性研究者・女子学生が交流できるイベントを夏に2回、冬に1回実施した。夏のイベント「のぞき見Science2025はじめてラボ」では、ミニ講演および発表会に参加し（参加者86名、抽選あり）、研究内容やキャリアパスに関する情報提供と交流機会の創出を行った。 ・横浜女学院中学校高等学校の「土曜チャレンジ」において、「優しさ×データ×まちづくり」をテーマとしたPBL型授業を実施し（参加者30名、抽選あり）、社会課題とデータサイエンスの接続を体験的に学ぶ機会を提供した。 今後の計画としては、これらのアウトリーチ活動を継続的に展開するとともに、令和8年度には県内高等学校（江戸川学園取手高等学校）において高校3年生全生徒を対象に、AI時代におけるキャリア形成と教育に関する講演を実施予定であり、より広範な層への働きかけを強化する。 ○理工学群及び情報学群の対象学類並びにシステム情報工学研究群の対象学位プログラムでは、女子学生確保のための方策として、以下を実施した。 ・オープンキャンパスにおいて、現役女子学生による高校生向けの情報提供を実施 ・女子高を含む高校への出前授業や、オープンキャンパスでの模擬講義などの参加・体験型プログラムを実施 ・学群・学類において、広報動画の作成・配信を行うとともに、ホームページやSNSを活用した分かりやすい情報発信を実施 ・学群紹介動画「私のサイエンスライフ―選んだ道が、私の未来を切り拓く力になる」を作成し、進路選択に資する情報を発信 ・ホームページにおいて女性教員紹介ページを設け、ロールモデルを提示 ・入学時に女子学生オリエンテーション（上級生参加）を実施し、学年間の縦のつながりを形成するとともに、相談しやすい環境を整備 ・クラス連絡会において、女子学生の視点による意見収集を実施 ・トイレの全面洋式化やウォシュレット整備など、女子学生の受入を意識した学習環境の整備を推進 ・卒業時に女子学生を対象とした表彰（工学システム学類Futureship賞。令和8年3月の受賞者3名）を実施し、ロールモデルの可視化を推進 ○情報学群では情報学群における女子学生比率の調査と総合選抜（理系Ⅲ）への女性枠設定の可能性についてデータ分析を行い検討を重ねたが、女性枠導入は時期尚早と判断し女性志願者数の増加に向けた広報活動や支援制度の充実を進めることとした。 ○情報学群情報科学類および情報メディア創成学類では、オープンキャンパス等で、女性向け企画（女性教員や女性学生等をメインとした座談会や講演等の企画）を実施した。また、パンフレット全体の雰囲気をより親しみやすいものにしたり、ウェブページやパンフレットに女性を登場させる頻度を高くしたりするなど女子学生を意識した広報も行っている。

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（ハイレベル枠）

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<合計>

大区分	小区分	年度 / 項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		事業計画に定める定員	人	53	53	53	69	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	53	53	53	69	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	62	61	79	91	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	10	6	19	19	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	21	22	20	24	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	26	23	26	24	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	12	6	20	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	1	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	5	5	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	6	2	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	53	53	53	69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		入学者数（B）	人	74	67	99	91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女子学生数	人	13	7	22	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		社会人学生数	人	26	27	31	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		留学生数	人	32	25	34	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.40	1.26	1.87	1.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	159	159	159	175	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	199	224	259	300	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.25	1.41	1.63	1.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	46	43	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	42	38	44	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	4	5	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1	3	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		学位取得者数	人	47	44	60	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	23	27	39	32	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	14	14	14	16	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<合計>

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
		事業計画に定める定員	人	270	360	360	360	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	270	360	360	360	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	327	356	362	371	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	51	56	56	56	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	8	11	17	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	65	77	81	59	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	6	6	7	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	1	3	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	6	6	6	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	270	360	360	360			-	-					-			-	-		
		入学者数（B）	人	333	362	369	371			-	-					-			-	-		
		女子学生数	人	53	57	59	56			-	-					-			-	-		
		社会人学生数	人	8	11	17	12			-	-					-			-	-		
		留学生数	人	71	83	87	59			-	-					-			-	-		
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.23	1.01	1.03	1.03			-	-					-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	540	630	720	720	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	715	743	763	779	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.32	1.18	1.06	1.08			-	-					-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	316	324	347	-			-	-					-			-	-		
		就職者数	人	255	245	248	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	36	53	55	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	25	26	20	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	24	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	30	40	41	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	14	14	14	16	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－3.学士課程

＜合計＞

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	260	260	278	278	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編入学定員	人	20	20	33	33	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	258	258	271	271	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	258	258	273	277	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	36	31	32	46	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	7	5	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	2	2	7	7	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	3	3	9	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	1	1	2	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	2	1	8	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	260	260	278	278	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		入学者数（B）	人	261	261	282	277	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女子学生数	人	37	32	34	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		社会人学生数	人	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		留学生数	人	5	8	13	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	1.01	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,080	1,080	1,111	1,142	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編入学定員	人	20	20	33	33	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	1,131	1,141	1,146	1,168	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編入学者数	人	37	28	36	38	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.06	1.03	1.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	274	283	289	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	54	40	48	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	216	226	222	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	4	17	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	7	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	70	65	71	77	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	706	672	715	770	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる研究科等の個数	3

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム

					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度																					
		改組状況			選定			増員		完成年度													
大区分	小区分	項目	単位																				
	事業計画に定める定員	入学定員	人		25	25	25	32															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人		25	25	25	32															
		入学者数	人		28	27	27	32															
		女子学生数	人		2	3	3	5															
		社会人学生数	人		13	11	6	11															
		留学生数	人		12	13	13	11															
	その他の学期	入学定員	人		0	0	0	0															
		入学者数	人		7	5	7																
		女子学生数	人		2	1	0																
		社会人学生数	人		3	4	4																
		留学生数	人		3	2	3																
	入学者合計	入学定員(A)	人		25	25	25	32	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人		35	32	34	32	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人		4	4	3	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人		16	15	10	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人		15	15	16	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍		1.40	1.28	1.36	1.00															
	収容定員等	収容定員(C)	人		75	75	75	82															
		在籍者数(D)	人		85	96	104	107															
		収容定員充足率（D/C）	倍		1.13	1.28	1.39	1.30															
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人		22	20	34																
		就職者数	人		20	17	25																
		進学者数	人		0	0	0																
		その他	人		2	3	5																
		進路不明	人		0	0	4																
	大学院博士課程	満期退学者数	人		1	3	0																
		学位取得者数	人		23	21	34																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人		14	15	25	17															
		授業科目の単位数	単位		6	6	6	7															

大学名	筑波大学

(2)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム

大区分	小区分	項目	単位	年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
				改組状況	選定			増員		完成年度													
	事業計画に定める定員	入学定員	人		16	16	16	24															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人		16	16	16	24															
		入学者数	人		22	19	29	43															
		女子学生数	人		3	1	5	6															
		社会人学生数	人		6	8	9	11															
		留学生数	人		9	2	7	11															
	その他の学期	入学定員	人		0	0	0	0															
		入学者数	人		3	1	9																
		女子学生数	人		0	0	1																
		社会人学生数	人		2	1	6																
		留学生数	人		1	0	2																
	入学者合計	入学定員(A)	人		16	16	16	24	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人		25	20	38	43	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人		3	1	6	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人		8	9	15	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人		10	2	9	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍		1.56	1.25	2.38	1.79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人		48	48	48	56															
		在籍者数(D)	人		73	79	88	113															
		収容定員充足率（D/C）	倍		1.52	1.65	1.83	2.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人		16	20	22		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人		15	19	16																
		進学者数	人		0	0	0																
		その他	人		1	1	2																
		進路不明	人		0	0	4																
	大学院博士課程	満期退学者数	人		0	0	0																
		学位取得者数	人		16	20	22																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人		7	8	8	9															
		授業科目の単位数	単位		6	6	6	7															

大学名	筑波大学

(3)

改組組織名	人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定			増員		完成年度													
	事業計画に定める定員	入学定員	人	12	12	12	13															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	12	12	12	13															
		入学者数	人	12	15	23	16															
		女子学生数	人	5	2	11	8															
		社会人学生数	人	2	3	5	2															
		留学生数	人	5	8	6	2															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	2	0	4																
		女子学生数	人	1	0	2																
		社会人学生数	人	0	0	1																
		留学生数	人	2	0	3																
	入学者合計	入学定員(A)	人	12	12	12	13	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	14	15	27	16	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	6	2	13	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	3	6	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	7	8	9	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.17	1.25	2.25	1.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	36	36	36	37															
		在籍者数(D)	人	41	49	67	80															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.36	1.86	2.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	8	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	7	2	3																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	1	1	1																
		進路不明	人	0	0	0																
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0	2																
		学位取得者数	人	8	3	4																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	2	4	6	6															
		授業科目の単位数	単位	2	2	2	2															

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる研究科等の個数	3

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	増員	完成年度																
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	116	150	150	150															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	116	150	150	150															
		入学者数	人	141	147	152	150															
		女子学生数	人	15	18	15	22															
		社会人学生数	人	5	7	6	8															
		留学生数	人	35	37	36	20															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	116	150	150	150	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	141	147	152	150	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	15	18	15	22	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	5	7	6	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	35	37	36	20	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.22	0.98	1.01	1.00			-					-	-				-	-	
	収容定員等	収容定員(C)	人	232	266	300	300															
		在籍者数(D)	人	299	308	308	314															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.29	1.16	1.03	1.05			-					-	-				-	-	
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	129	141	139	-	-		-	-				-	-				-	-	
		就職者数	人	109	109	106																
		進学者数	人	13	17	17																
		その他	人	7	15	6																
		進路不明	人	0	0	10																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	16	18	26	26															
		授業科目の単位数	単位	6	6	6	7															

大学名	筑波大学

(2)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	増員	完成年度																
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	135	135	135															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	135	135	135															
		入学者数	人	127	138	128	135															
		女子学生数	人	16	16	13	11															
		社会人学生数	人	2	2	7	2															
		留学生数	人	17	20	27	26															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	0	0															
		入学者数	人	-	-	2																
		女子学生数	人	-	-	1																
		社会人学生数	人	-	-	0																
		留学生数	人	-	-	2																
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	135	135	135	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	127	138	130	135	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	16	16	14	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	2	7	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	17	20	29	26	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.27	1.02	0.96	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	200	235	270	270															
		在籍者数(D)	人	265	278	274	272															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.33	1.18	1.01	1.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	120	126	135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	97	100	92																
		進学者数	人	13	21	26																
		その他	人	10	5	3																
		進路不明	人	0	0	14																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	7	8	8	9															
		授業科目の単位数	単位	6	6	6	7															

大学名	筑波大学

(3)

改組組織名	人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定	増員	完成年度																
	事業計画に定める定員	入学定員	人	54	75	75	75															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	54	75	75	75															
		入学者数	人	59	71	82	86															
		女子学生数	人	20	22	28	23															
		社会人学生数	人	1	2	4	2															
		留学生数	人	13	20	18	13															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	6	6	5																
		女子学生数	人	2	1	2																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	6	6	4																
	入学者合計	入学定員(A)	人	54	75	75	75	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	65	77	87	86	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	22	23	30	23	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	2	4	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	19	26	22	13	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.20	1.03	1.16	1.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	108	129	150	150															
		在籍者数(D)	人	151	157	181	193															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.40	1.22	1.21	1.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	67	57	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	49	36	50																
		進学者数	人	10	15	12																
		その他	人	8	6	11																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	2	4	6	6															
		授業科目の単位数	単位	2	2	2	2															

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる学部等の個数	3

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－３.学士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工学群工学システム学類

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定		増員			完成年度													
	事業計画に定める定員	入学定員	人	130	130	138	138															
		編入学定員	人			5	5															
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	128	128	131	131															
		入学者数	人	128	128	132	131															
		女子学生数	人	14	13	12	23															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	4	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	2	2	7	7															
		入学者数	人	3	3	9																
		女子学生数	人	1	1	2																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	2	1	8																
	入学者合計	入学定員(A)	人	130	130	138	138	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	131	131	141	131	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	15	14	14	23	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	5	8	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.01	1.01	1.02	0.95	-		-	-		-	-	-	-	-	-	-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	520	520	533	546															
		編入学定員	人	0	0	5	5															
		在籍者数(D)	人	527	532	532	538															
		編入学者数	人	9	1	6	7															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.01	1.02	1.00	0.99	-		-	-		-	-	-	-	-	-	-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	125	128	125	-	-		-	-		-	-	-	-	-	-	-	-		
		就職者数	人	12	14	5																
		進学者数	人	112	110	113																
		その他	人	1	4	2																
		進路不明	人	0	0	5																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	43	35	39	44															
		授業科目の単位数	単位	245	224	238	256															

大学名	筑波大学

(2)

改組組織名	情報学群情報科学類

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定		増員			完成年度													
	事業計画に定める定員	入学定員	人	80	80	86	86															
		編入学定員	人	10	10	14	14															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	80	80	86	86															
		入学者数	人	80	80	87	90															
		女子学生数	人	10	6	8	11															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	2	2	4	4															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	80	80	86	86	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	80	80	87	90	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	10	6	8	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	2	2	4	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	1.01	1.05			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	340	340	350	360															
		編入学定員	人	10	10	14	14															
		在籍者数(D)	人	364	368	373	381															
		編入学者数	人	14	14	14	17															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.08	1.07	1.06			-	-				-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	91	88	100	-	-		-	-				-	-			-	-		
		就職者数	人	26	10	23																
		進学者数	人	64	73	70																
		その他	人	1	5	5																
		進路不明	人	0	0	2																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	16	19	20	22															
		授業科目の単位数	単位	220	214	228	246															

大学名	筑波大学

（３）

改組組織名	情報学群情報メディア創成学類

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		増員			完成年度													
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	50	50	54	54															
		編入学定員	人	10	10	14	14															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	50	50	54	54															
		入学者数	人	50	50	54	56															
		女子学生数	人	12	12	12	12															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	1	1	2															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	50	50	54	54	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	50	50	54	56	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	12	12	12	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	1	1	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	1.00	1.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	220	220	228	236															
		編入学定員	人	10	10	14	14															
		在籍者数(D)	人	240	241	241	249															
		編入学者数	人	14	13	16	14															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.09	1.10	1.06	1.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	58	67	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	16	16	20																
		進学者数	人	40	43	39																
		その他	人	2	8	5																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	11	11	12	11															
		授業科目の単位数	単位	241	235	249	268															

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	53	53	53	69															
		入学者数	人	62	61	79	91															
		女子学生数	人	10	6	19	19															
		社会人学生数	人	21	22	20	24															
		留学生数	人	26	23	26	24															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	12	6	20																
		女子学生数	人	3	1	3																
		社会人学生数	人	5	5	11																
		留学生数	人	6	2	8																
	入学者合計	入学定員（A）	人	53	53	53	69															
		入学者数（B）	人	74	67	99	91															
		女子学生数	人	13	7	22	19															
		社会人学生数	人	26	27	31	24															
		留学生数	人	32	25	34	24															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.40	1.26	1.87	1.32															
	収容定員等	収容定員(C)	人	159	159	159	175															
		在籍者数(D)	人	199	224	259	300															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.25	1.41	1.63	1.71															
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	46	43	60																
		就職者数	人	42	38	44																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	4	5	8																
		進路不明	人	0	0	8																
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1	3	2																
		学位取得者数	人	47	44	60																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	23	27	39	32															
		授業科目の単位数	単位	14	14	14	16															

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	270	360	360	360															
		入学者数	人	327	356	362	371															
		女子学生数	人	51	56	56	56															
		社会人学生数	人	8	11	17	12															
		留学生数	人	65	77	81	59															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	6	6	7																
		女子学生数	人	2	1	3																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	6	6	6																
	入学者合計	入学定員（A）	人	270	360	360	360															
		入学者数（B）	人	333	362	369	371															
		女子学生数	人	53	57	59	56															
		社会人学生数	人	8	11	17	12															
		留学生数	人	71	83	87	59															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.23	1.01	1.03	1.03															
	収容定員等	収容定員(C)	人	540	630	720	720															
		在籍者数(D)	人	715	743	763	779															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.32	1.18	1.06	1.08															
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	316	324	347																
		就職者数	人	255	245	248																
		進学者数	人	36	53	55																
		その他	人	25	26	20																
		進路不明	人	0	0	24																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	30	40	41															
		授業科目の単位数	単位	14	14	14	16															

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	258	258	271	271															
		入学者数	人	258	258	273	277															
		女子学生数	人	36	31	32	46															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	3	7	5	6															
	その他の学期	入学定員	人	2	2	7	7															
		入学者数	人	3	3	9																
		女子学生数	人	1	1	2																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	2	1	8																
	入学者合計	入学定員（A）	人	260	260	278	278															
		入学者数（B）	人	261	261	282	277															
		女子学生数	人	37	32	34	46															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	5	8	13	6															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	1.01	1.00															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,080	1,080	1,111	1,142															
		編入学定員	人	20	20	33	33															
		在籍者数(D)	人	1,131	1,141	1,146	1,168															
		編入学者数	人	37	28	36	38															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.06	1.03	1.02															
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	274	283	289																
		就職者数	人	54	40	48																
		進学者数	人	216	226	222																
		その他	人	4	17	12																
		進路不明	人	0	0	7																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	70	65	71	77															
		授業科目の単位数	単位	706	672	715	770															

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	627	627	627	643															
		入学者数	人	586	558	594	672															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	65	78	85																
	入学者合計	入学定員（A）	人	627	627	627	643	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	651	636	679	672	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.01	1.08	1.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	2,036	1,993	1,993	2,009															
		在籍者数（D）	人	2,673	2,672	2,739	2,837															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.31	1.34	1.37	1.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,798	1,888	1,888	1,888															
		入学者数	人	1,884	1,870	1,898	1,948															
	その他の学期	入学定員	人	17	17	17	17															
		入学者数	人	103	95	95																
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,815	1,905	1,905	1,905	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,987	1,965	1,993	1,948	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.03	1.05	1.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	3,630	3,720	3,810	3,810															
		在籍者数（D）	人	4,132	4,206	4,167	4,224															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.13	1.09	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,074	2,074	2,081	2,081															
		入学者数	人	2,135	2,120	2,125	2,135															
	その他の学期	入学定員	人	27	67	78	78															
		入学者数	人	49	62	76																
	入学者合計	入学定員（A）	人	2,101	2,141	2,159	2,159	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	2,184	2,182	2,201	2,135	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.02	1.02	0.99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	8,845	8,844	8,914	8,972															
		編入学定員	人	78	78	91	78															
		在籍者数（D）	人	9,635	9,634	9,573	9,605															
		編入学者数	人	122	96	105	96															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.09	1.09	1.07	1.07															

４.外部資金の状況（全学）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
競争的外部資金等の状況	全体	研究者数	人	2,351	2,366	2,349	2,360															
		外部資金獲得額	千円	17,247,252	17,192,704	19,184,493		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	共同研究	実施件数	件	616	686	578																
		実施件数（民間企業からのみ）	件	544	604	501																
		受入額	千円	2,384,677	2,405,856	2,399,313																
		受入額（民間企業からのみ）	千円	2,155,435	2,118,720	2,132,287																
	受託研究	実施件数	件	492	514	542																
		実施件数（民間企業からのみ）	件	62	73	72																
		受入額	千円	6,543,298	5,298,180	7,648,259																
		受入額（民間企業からのみ）	千円	410,088	115,288	175,662																
	寄附金	実施件数	件	667	645	750																
		実施件数（民間企業からのみ）	件	222	171	210																
		受入額	千円	2,288,316	3,204,680	2,518,338																
		受入額（民間企業からのみ）	千円	439,910	437,907	439,278																
	その他	受入額（上記に当てはまらないもの）	千円	6,030,960	6,283,988	6,618,583																

特記事項

・以下に掲げる欄の入学定員0人とは、若干名を意味している。
理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士課程）　R8年度のその他の学期
理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士課程）　R8年度のその他の学期
人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士課程）　R8年度のその他の学期
理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（修士課程）　R8年度のその他の学期
人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（修士課程）　R8年度のその他の学期
情報系組織の状況の博士課程のR8年度のその他の学期
情報系組織の状況の修士課程のR8年度のその他の学期
大学全体の状況の博士課程のR8年度のその他の学期
・学士課程理工学群工学システム学類におけるその他の学期の入学定員（R8年度）は理工学群応用理工学類と合わせて13名としている。